

人工光合成に関する国際共同研究が スタート～National Taiwan University との二酸化炭素利用のための光触媒・生体 触媒複合材料創製に関する国際共同研究～

人工光合成研究拠点では2019年4月から従来の共同利用・共同研究拠点事業に加えて外国人運営委員会を組織し国際的な機能強化を始めております。その一環として、人工光合成研究センター所長 天尾豊教授と本拠点の国際運営委員の National Taiwan University Chia-Wen (Kevin) Wu 教授の研究計画が日本学術振興会の科学研究費助成事業(科研費)・国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))に採択され、2019年10月から5年間の研究期間で本格的な人工光合成に関する国際共同研究がスタートすることになりました。この国際共同研究には2020年4月から人工光合成研究センター副所長の山田裕介工学研究科教授、田部博康特任講師がメンバーとして参加します。

研究開始に先立ち2020年1月にはWu教授が人工光合成研究センターを訪問し、メンバーと今後の研究計画について討議しました。2020年2月にはWu教授が国際共同研究キックオフワークショップを National Taiwan University にて企画し、天尾センター所長、山田教授、田部特任講師が参加しました。



National Taiwan University 正門

このワークショップ開催に先立ち National Taiwan University で唯一の研究センター The Center of Atomic Initiative for New Materials (AI-MAT) を Wu 教授とともにメンバー全員が訪問し、

Li-Chyong Chen センター長、Chun-Wei Chen 教授と人工光合成研究に関する情報交換をしました。今後 AI-MAT と人工光合成研究センターとで研究交流促進を検討することとなりました。



AI-MAT での情報交換会

その後国際共同研究キックオフワークショップが開催され、天尾センター長から本課題の概要説明の後、山田教授、田部特任講師、National Taiwan University の Chi -Sheng Wu 教授他5名の研究紹介があり、活発な議論・討論がありました。今後田部特任講師や大学院生など若手研究者が互いの大学に長期滞在し研究を進める方針などが打ち出されて盛会のうちワークショップは閉会しました。



国際共同研究キックオフワークショップ

センターでは新たな共同利用・共同研究拠点としての在り方、国際的な研究協力強化等に挑戦していきます。

(今月の担当は天尾豊センター所長でした)

人工光合成研究拠点 ニュースレター
 第5巻・第3号 2020年6月17日発行
 発行責任者：天尾豊(大阪市立大学人工光合成研究センター所長) 編集責任者：吉田朋子(同副所長)
<http://recap.osaka-cu.ac.jp/ap-coe/index.html>